



三井松島

# 2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

三井松島ホールディングス株式会社

# 目次

---

P3

2026年3月期 第3四半期決算報告

P7

2026年3月期 連結業績予想

P9

「経営戦略2024」の進捗

# **2026年3月期 第3四半期決算報告**

# 連結損益計算書

- 売上高 : 前年同期比 **+8.6%** の増収
- 営業利益 : 前年同期比 **+32.0%** の増益
- 純利益 : 前年同期比 **+40.8%** の増益

(単位：百万円)

	2025/3期 3Q	2026/3期 3Q	対前期比較 増減額	主な変動要因
売上高	45,328	49,215	+3,887	・ジャパン・チェーン・ホールディングス（産業用製品）等の売上増加 ・エム・アール・エフ（金融その他）の子会社化による増収
営業利益 (のれん償却前営業利益)※	6,190 (7,049)	8,174 (9,085)	+1,983 (+2,035)	
経常利益	6,676	8,582	+1,905	
親会社株主 四半期純利益	5,145	7,244	+2,099	特別利益（税引後） ・太陽光発電事業譲渡益 850百万円 ・投資有価証券売却益(MM Investments等) 520百万円

※ のれん償却前営業利益とは、企業買収によって生じるのれんの償却額を除外して算出される営業利益です。

# 連結セグメント情報

## 生活消費財

日本ストロー、明光商会、ケイエムティ、システムキヨーワ、MOS

## 産業用製品

CST、三生電子、日本カタン、プラスワンテクノ、ジャパン・チェーン・ホールディングス

## 金融その他

エム・アール・エフ（2025/3期 2Q連結加入）など

(単位：百万円)

	売上高		セグメント利益	
	2026/3期 3Q	前年差	2026/3期 3Q	前年差
生活消費財 (のれん償却前)	20,243	+211	2,179 (2,651)	+282 (+282)
産業用製品 (のれん償却前)	25,126	+2,721	4,390 (4,754)	+1,155 (+1,182)
金融その他 (のれん償却前)	3,897	+951	1,603 (1,678)	+545 (+570)
調整額	▲50	+1	-	-
合計 (のれん償却前)	49,215	+3,887	8,174 (9,085)	+1,983 (+2,035)

# 連結貸借対照表

貸借対照表		2025/3月末		2025/12月末		(単位：百万円)	
		金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減額	主な増減要因
	流動資産	71,175	60.5	76,049	59.3	+4,874	
	固定資産	46,451	39.5	52,106	40.7	+5,654	MM Investmentsの投資による投資有価証券增加+7,208
	資産合計	117,627	100.0	128,156	100.0	+10,528	
	流動負債	43,841	37.3	56,466	44.0	+12,624	自己株式取得に伴う短期借入金増加+10,518
	固定負債	8,304	7.0	16,517	12.9	+8,212	自己株式取得に伴う長期借入金の増加+9,054
	負債合計	52,146	44.3	72,983	56.9	+20,837	
	純資産合計	65,481	55.7	55,172	43.1	▲10,308	自己株式取得による減少▲17,871 親会社株主四半期純利益+7,244
	負債・純資産合計	117,627	100.0	128,156	100.0	+10,528	

その他指標		2025/3月末	2025/12月末	増減額
現金及び預金		8,973	6,490	▲2,482
有利子負債		31,763	51,336	+19,572
ネット有利子負債		22,790	44,845	+22,055
自己資本比率 (%)		55.5	42.9	▲12.6

# 2026年3月期 連結業績予想

# 2026年3月期 連結業績予想

- 2026年3月期は前年度対比で**売上高・営業利益は着実に増加する見込み**
- 2025年11月7日に2026年3月期連結業績予想を修正（**今回は当該予想を保守的に据え置き**）
  - 2026年3月期3Q累計実績の営業利益および経常利益は通期予想に対して高い進捗率で推移。  
一方、4Qでは決算賞与等の費用が増加することに加え、季節性や案件偏重による売上減少により利益が減少する見込み

(単位：百万円)

	2025/3期 実績	2026/3期		主な特殊要因
	3Q実績	通期予想 (11/7公表)		
売上高	60,574	49,215	66,600	
営業利益 (のれん償却前)	7,615 (8,769)	8,174 (9,085)	9,000 (10,100)	
経常利益	8,448	8,582	9,100	
親会社株主 当期純利益	8,645	7,244	6,400	<p><b>【3Q累計】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・太陽光発電事業譲渡益+850</li><li>・投資有価証券売却益(MM Investments等)+520</li></ul> <p><b>【4Q】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・三井松島リソーシス譲渡損▲700</li></ul>
1株当たり配当額	26円		64円	

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果になる可能性があります。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示する予定です。

※ 当社は、2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。上記の配当額は分割後の株式数を基準とした金額となります。

## (補足)

譲渡損に伴うキャッシュアウトは無く、むしろ税務上の損失計上により当社グループの税金を約7億円減少

# 「経営戦略2024」の進捗

# 「経営戦略2024」の進捗

- M&A投資及び資本政策の着実な実行により、2024年5月に公表した3ヵ年の「経営戦略2024」は1年前倒しで**早期達成見込み**

## 経営戦略2024

- PBR=1倍以上、ROE8%以上を意識し、今後3年間の経営戦略を以下とする。

1

2027年3月期までに当期純利益50億円以上を継続的に計上できる収益構造をM&Aにより構築する

⇒**2025年3月期、2026年3月期ともに当期純利益50億円超を達成見込み**

2

2024年3月期末のネット現預金（216億円）は、今後3年間でM&A投資もしくは株主還元（自己株式取得・配当）に積極的に充当し、一株当たりの株式価値の最大化を図る

⇒**M&A投資140億円、株主還元245億円を実施**

本資料の将来の業績に関する記述等については、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、変化する可能性があることにご留意下さい。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なってください。また本資料の利用の結果生じいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。